

水稻栽培管理研修会が実施されました

令和6年10月23日(水)に大崎町中央公民館で水稻栽培管理研修会が実施され、水稻農家など51名が参加しました。

今回の研修は、地球温暖化に伴う栽培環境の変化が作付スケジュールの変更だけでなく、病害虫防除や品種の変更などにも大きな影響を及ぼしていることから、令和7年産の水稻栽培に向けて曾於畑地かんがい農業推進センターやJAそお鹿児島農協から7名の講師による品種の特性や栽培、施肥の方法などの説明をされました。

JAそお鹿児島管内の検査結果によると、令和6年産の1等米比率はコシヒカリが26.2%、イクヒカリが2.0%、なつほのかが17.7%とされております。

この結果より、そお畑かんセンターからは、大崎町病害虫防除対策連絡協議会でおこなっている航空防除だけではとても米の等級をあげることは難しいとの説明があり、今後は、ご自分の圃場を確認していただきそれぞれの品種にあった自主防除にも努めていただきたいとのことでした。

また、研修会後半には農業機械の安全講習もおこなわれ、近年、農作業での事故も多発していることから農作業の際や刈り払機を使用される際は十分に注意をしていただきたいとのことでした。

【主な内容】

- 米情勢と鹿児島県の早期水稻の評価について
- 早期水稻の品種特性及び栽培技術について
- 早期水稻の肥料技術等について
- 令和6年産の早期水稻の品質について
- 最新の農薬技術について
- 農作業安全について

